

第15回 日本核医学学会中国・四国地方会

会期：昭和55年7月19日（土）～7月20日（日）
 会場：宇部市小串1144 山口大学医学部第5講堂
 世話人：中西 敬

目 次

1. 我国における核医学利用状況	中島 智能	1345
2. 中・四国地方における核医学利用状況	中島 智能	1346
3. ^{67}Ga の腫瘍集積機序—Ga-Fe complex の役割	加地 辰美他	1346
4. 甲状腺腫瘍における $^{201}\text{Tl-Chloride}$ シンチグラフィー	江口 誠一他	1346
5. 胸腔内甲状腺腫の一例	荻野 隆一他	1346
6. A—C bypass 手術前後の Tl-201 心筋摂取率の検討	榎林 勇他	1347
7. 厥肺症における Ventilation wash out と Perfusion wash out の イメージの違いについて (^{133}Xe による)	佐藤 功他	1347
8. 胃の悪性リンパ腫症	伊藤 久雄他	1347
9. $^{99\text{m}}\text{Tc-EHIDA}$ による Functional Hepatoma の一例	三谷 健他	1347
10. SOL を有する肝疾患の ^{198}Au コロイドによる肝血流量その他について	板野 哲明他	1348
11. 骨肉腫骨シンチグラフィーの臨床的意義	平木 祥夫他	1348
12. 骨肉腫発育におけるプロスタグラディンE値の変動と骨、骨髓シンチグラフィー	大塚 信昭他	1348
13. $^{99\text{m}}\text{Tc-DMSA}$ による腎血流量測定の検討	棚田 修二他	1348
14. フェリチン測定の臨床的検討	飯尾 篤他	1349
15. 新しい CEA 測定法の基礎的、臨床的検討	下岡 麻里他	1349
16. 乾燥濾紙血液による TSH の測定	中村 良文他	1349
17. ^{125}I を利用したプロゲステロンのラジオイムノアッセイ	上田 一之他	1349

一般講演

1. 我国における核医学利用状況

中島 智能 (日本アイソトープ協会)

近年核医学の発展は目覚しいものがあり、放射性医薬品の使用は年々 40% 前後の伸びを示している。アイソトープ協会における資料に基づき、我国の現状について報告を行った。

放射性医薬品使用量：昭和54年度 191 億円（うち in vivo 59 億円, in vitro 131 億円）核医学施設：54年9月現在 1157 ケ所（うち in vivo 施設 749 ケ所, in vitro 施設 986 ケ所）

ほかに in vivo 核種別使用施設数および in vitro 検査項目別施設数の推移、放射性廃棄物の集荷量の推移などについて報告を行った。